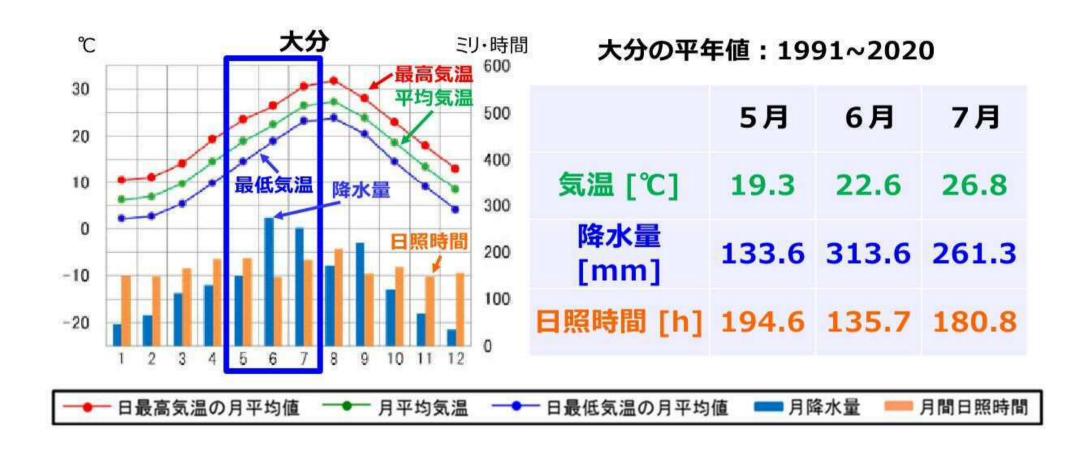
向こう3か月の天候の見通し 九州北部地方(5月~7月)

令和6年5月22日 大分地方気象台

大分県の5月,6月,7月の平年値



九州北部地方の梅雨入り・明け

入り: 平年 6月 4日ごろ (2023年5月29日ごろ)

明け: 平年 7月19日ごろ (2023年7月25日ごろ)

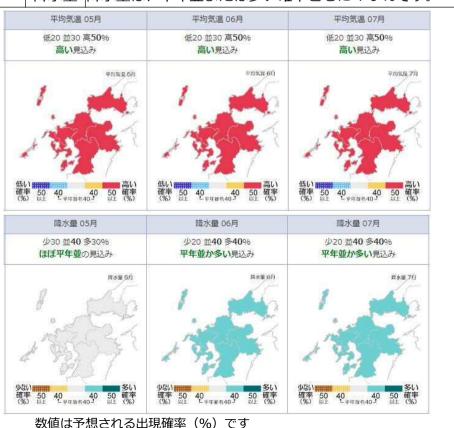
3か月予報の解説(令和6年5月~7月)

2024年04月23日発表

次の発表は5月21日13時です 最新の情報をご利用ください

九州北部地方(山口県含む)の予想

5月	天候	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
	Х//Ш	文(温は、同く中華・ラーク/0 と 9 。
	降水量	降水量は、平年並の確率40%です。
6月	天候	平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
7月	天候	期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。



予想される海洋と大気の特徴

- ・地球温暖化や終息に向かうエルニーニョ現象の影響等により、 全球で大気全体の温度がかなり高いでしょう。
- ・インド洋熱帯域で海面水温が高く、積乱雲の発生はインド洋熱 帯域で多い一方、フィリピン付近で少ないでしょう。
- ・この影響により、日本の南で太平洋高気圧の西への張り出しが 強く、日本付近には南から暖かく湿った空気が流れ込みやすい でしょう。
- ・これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいで しょう。また、西日本太平洋側と沖縄・奄美では前線や湿った 空気の影響を受けやすいでしょう。

